

# 情報連絡員総括表（2019年9月）

## － 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(\text{好転組合数} - \text{悪化組合数}) / \text{調査対象組合数}] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移  
 ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 (回答者数 60 名 : 回収率 100%)

○2019年9月のDI値は、前月との比較において「販売価格」と「雇用人員」を除く7指標において改善する結果となった。前月同様「販売価格」以外は基準値を大きく下回っている。

10月の消費増税後の影響を懸念する声が聞かれた。

○「製造業」では、前月との比較において、「収益状況」と「雇用人員」が悪化、「売上高」が横ばい、それ以外の6指標が改善する結果となった。

○「非製造業」では、前月との比較において、「売上高」と「販売価格」が悪化、「取引条件」「資金繰り」「雇用人員」が横ばい、それ以外の3指標が改善する結果となった。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2019年9月	-23.3	-11.7	6.6	-13.4	-31.6	-10.0	-30.0	-20.0	-31.6
2019年8月	-23.4	2.3	8.4	-15.0	-31.7	-11.6	-36.6	-15.0	-36.7
増減	0.1 ↑	-14.0 ↑	-1.8 ↓	1.6 ↑	0.1 ↑	1.6 ↑	6.6 ↑	-5.0 ↓	5.1 ↑

## 2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体				
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減		
売上高	2019年9月	-30.0	0.0 ポイント	-	-16.7	-0.1 ポイント	↘	-23.3	0.1 ポイント	↗	-30.0	-	-	
	2019年8月	-30.0			-16.6			-23.4						
在庫数量	2019年9月	0.0	-13.3 ポイント	↗	-38.5	-15.4 ポイント	↗	-11.7	-14.0 ポイント	↗	2.3	-	-	
	2019年8月	13.3			-23.1			2.3						
販売価格	2019年9月	6.7	3.4 ポイント	↗	6.7	-6.6 ポイント	↘	6.6	-1.8 ポイント	↘	8.4	-	-	
	2019年8月	3.3			13.3			8.4						
取引条件	2019年9月	-6.6	3.4 ポイント	↗	-20.0	0.0 ポイント	-	-13.4	1.6 ポイント	↗	-15.0	-	-	
	2019年8月	-10.0			-20.0			-15.0						
収益状況	2019年9月	-46.7	-3.4 ポイント	↘	-16.7	3.3 ポイント	↗	-31.6	0.1 ポイント	↗	-31.7	-	-	
	2019年8月	-43.3			-20.0			-31.7						
資金繰り	2019年9月	-13.4	3.2 ポイント	↗	-6.6	0.0 ポイント	-	-10.0	1.6 ポイント	↗	-11.6	-	-	
	2019年8月	-16.6			-6.6			-11.6						
設備操業度	2019年9月	-30.0	6.6 ポイント	↗	/				-30.0	6.6 ポイント	↗	-36.6	-	-
	2019年8月	-36.6							-36.6					
雇用人員	2019年9月	-20.0	-10.0 ポイント	↘	-20.0	0.0 ポイント	-	-20.0	-5.0 ポイント	↘	-15.0	-	-	
	2019年8月	-10.0			-20.0			-15.0						
業界の景況	2019年9月	-43.4	6.6 ポイント	↗	-20.0	3.4 ポイント	↗	-31.6	5.1 ポイント	↗	-36.7	-	-	
	2019年8月	-50.0			-23.4			-36.7						

### 今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況					
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化				
食料品	1	0	2	0	0	0	0	1	0	2	0	1	1	1	1	1	0	1				
繊維工業	1	2	1	0	0	0	0	1	0	3	0	1	0	2	0	1	0	2				
木材・木製品	1	3	1	1	1	1	0	2	0	2	0	1	0	3	1	1	0	2				
紙・紙加工品	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1				
窯業・土石製品	1	2	0	0	1	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	2	0	1				
鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1				
一般機器	0	3	0	1	0	0	0	0	0	4	0	1	0	2	0	1	0	4				
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
輸送用機器	1	2	1	2	0	0	0	0	1	3	0	0	1	2	0	2	1	2				
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
卸売業	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1	/				0	1	0	2		
小売業	1	3	0	2	2	1	0	2	1	3	0	3					0	2	0	3		
商店街	0	2	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0					1	0	0	1		
サービス業	1	1	/		1	1	0	1	1	1	1	0					0	1	1			
建設業	2	0			0	0	0	1	1	1	0	0					0	0	0	2	1	0
運輸業	2	3			2	0	0	1	0	1	1	0					0	0	0	1	1	2

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水産加工原料の品薄と高騰により、水産加工品の確保が難しく、経営に苦慮している。</li> <li>・ 増税による副資材の費用負担増等、業界は先行き不透明の為投資ができない状況。</li> </ul>
織物業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受注はあるものの、例年の8割にとどまっており、この状況は続くと思われる。</li> </ul>
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例年は、彼岸の時期も通常時期とほぼ変わらないが、今年は消費増税前の多少の駆け込みが見られ、売上高が前年対比19%増となった。</li> </ul>
製材業、木製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅関係の受注が減少しており、組合員全体で景況感が悪い状況。</li> <li>・ 消費増税前の駆け込みも見られないが、増税後の反動減も無い。ただ事務面においては、増税に対するシステム対応とWindowsの更新やシステム更新等で苦慮している。</li> </ul>
紙・紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費増税前の前倒し需要で家庭紙（ティッシュ、トイレ紙、タオル用紙全て）が需要増加となった。市況もアップして安定推移してきた。</li> </ul>
印刷業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費増税前の駆け込み受注はほとんど無く落ち着いていた。原価・受注費が値上がったにも関わらず受注金額が下がり続けている。</li> <li>・ 先月はイベント受注があり好調だったが、今月はスポット的なものが無いため平常に戻った。</li> </ul>
セメント製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今まで遅れていた官公需工事の受注があり、売上が前年と比べ倍増している。車両が不足気味だが増車計画は無い。</li> <li>・ 原材料が値上がっているが、その影響を受けない程受注が多い。</li> </ul>
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上高が対前年同月比で7.1%減少している。</li> <li>・ 売上高は組合員により増加と減少が分かれ、やや減少傾向である。</li> </ul>
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米中貿易摩擦問題が引き続き足を引っ張り、受注を直撃している。</li> <li>・ メーカーの受注状況が健全受注水準を下回る月もあるようで、7月頃から受注が減って今後も不透明。</li> <li>・ 機械設備の発注先から一時「生産待った」の声がかかる等、先行き悪化が現実味を帯びてきた。</li> </ul>
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月までの天候不順の影響により、ルームエアコンの生産は減少したが、販売好調な業務用エアコンと、消費増税前の駆け込み需要があった冷蔵庫は生産が増加した。</li> </ul>
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組合員企業の売上平均値は、本年4月から5か月連続減少し続けている。また組合員企業間の格差が拡大している。</li> <li>・ 前月同様厳しい状況が続いている。10月以降の生産増を期待している。</li> <li>・ 消費増税後の今後を懸念している。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取引先企業の外資系化に伴い関連企業の整理統合が進みつつある。組合員個々で売上高の増減があるものの、全体的には大きな変化は見られない。</li> </ul>

## 非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月の出荷量は、前年同期比1.5%減で5ヶ月連続で前年実績を下回っている。工法の変化に伴う袋セメント需要の低迷により、事業環境は厳しさを増し上期の出荷量は大きく前年を下回った。</li> </ul>
各種商品卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>日用雑貨卸売会社が1社廃業し、施設は賃貸となった。また工業地域組合員も1社、敷地を売却予定。</li> </ul>
機械器具小売業	<p>8月に受注したエアコンの設置が9月末頃まで続いた。例年に無くエアコン受注が好調なのに加えて、4Kテレビもよく売れた。消費増税の関係か10月に向かうにつれて受注が鈍化している。</p>
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費増税前の駆け込み消費は、アパレル関係ではあまり無かった。9月26日に170人参加の総合防災訓練を実施し、消防局・日石・警察などとの連携の重要性を再認識した。9月26日より開催している組合員が講師となって行う「ミニ講座」イベントが毎日好評で、来客増加に繋がっている。</li> <li>駅前通りを歩行者天国にして、各商店でワンコイン商品を販売したり、農産物や雑貨などを販売するイベントを行った。心配した天気も良くなりそれなりの人出があった。子供が楽しめるお絵かきブースが楽しんでもらえた。</li> </ul>
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省で、建設キャリアアップシステムと連携した技能者の能力を客観的に評価する「能力評価基準」の認定が開始された。技能者が持つ力量を4段階でレベル分けされ「建設キャリアアップカード」が技能者本人に交付される。まだ始まったばかりで広がっていないが、今後これによりレベルに合った現場への技能者派遣による人材不足解消や、技術者個人のモチベーションアップに繋がることを期待する。</li> <li>職員の配置がうまくいかず受注がうまく回らなくなってきている。施工条件が厳しい。</li> <li>社会保険未加入者に対する指導が厳しくなり、2次、3次下請企業(従業員2~3人)の廃業が増えている。</li> </ul>
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>前月に続き新規着工が多く繁忙期を迎えている。全国的にも人で不足感が大きく、工程に支障をきたしそうな状況の現場も見受けられてきた。ただ、零細企業にあっては、取引先の受注状況に左右されることが大きく見通しが立っていない業者・業種も散見され、今後の動向に注意が必要な状況である。</li> </ul>
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費増税前の駆け込み需要により物流が増加した。荷物は前倒しで出荷されたため、10月以降の荷動きの低迷が懸念される。</li> <li>サウジアラビアの石油施設爆破の影響による原油価格の高騰が心配される。</li> </ul>

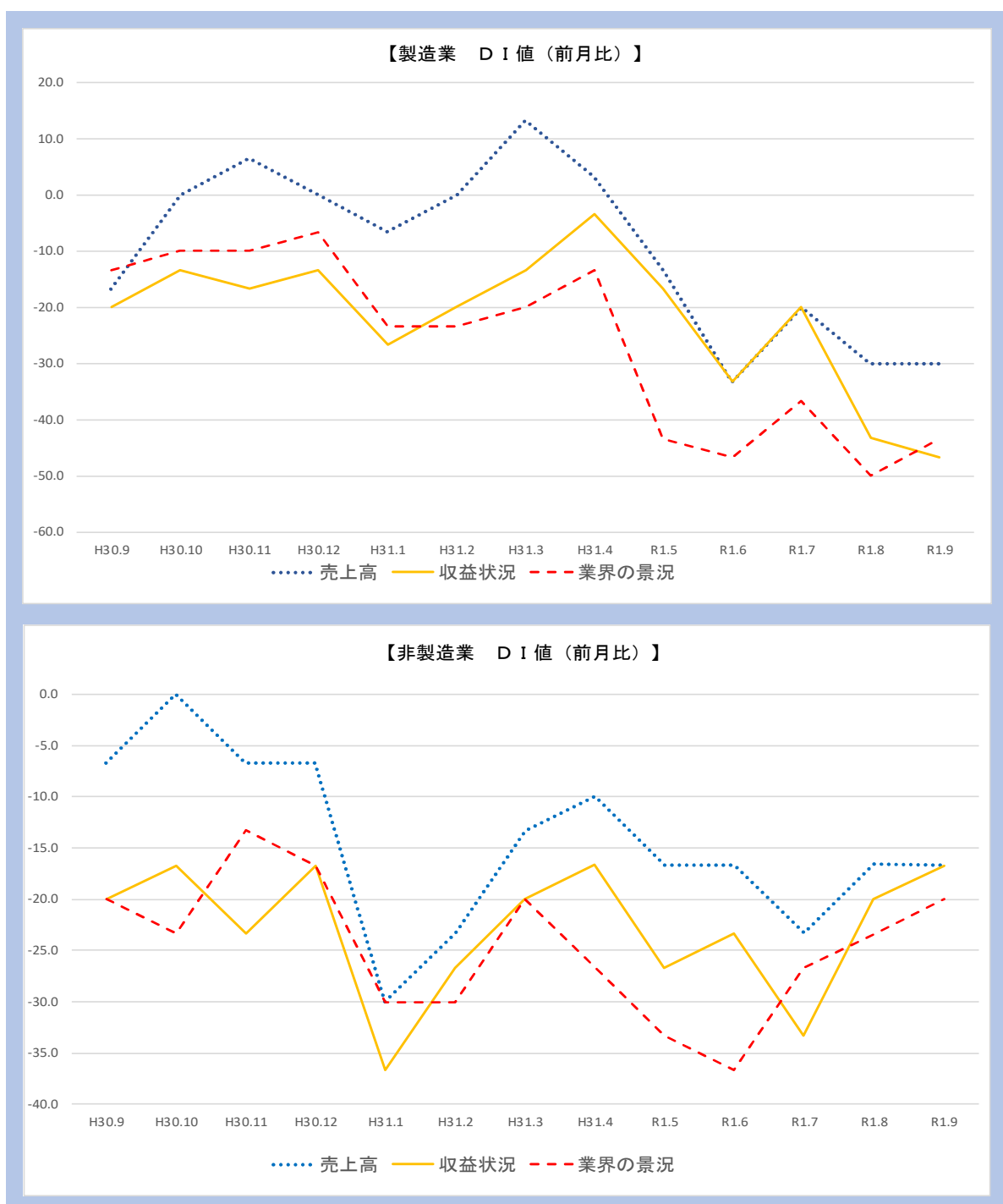
## 4. 主要三指標における DI 値の推移

■2018年9月期～2019年9月期までの推移

全体	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9
売上高	-11.7	0.0	0.0	-3.3	-18.4	-11.6	0.0	-3.3	-15.0	-25.0	-21.7	-23.4	-23.3
収益状況	-20.0	-15.0	-20.0	-15.0	-31.7	-23.4	-16.7	-10.0	-21.7	-28.3	-26.6	-31.7	-31.6
業界の景況	-16.7	-16.7	-11.7	-11.7	-26.7	-26.7	-20.0	-20.0	-38.3	-41.6	-31.7	-36.7	-31.6

製造業	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9
売上高	-16.7	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0
収益状況	-20.0	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7
業界の景況	-13.3	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4

非製造業	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9
売上高	-6.7	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7
収益状況	-20.0	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7
業界の景況	-20.0	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0



■2018年9月期～2019年9月期までの推移

売上高	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9
製造業	-16.7	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0
非製造業	-6.7	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7

収益状況	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9
製造業	-20.0	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7
非製造業	-20.0	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7

業界の景況	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9
製造業	-13.3	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4
非製造業	-20.0	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0

